

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日
中間配当を行う場合の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。
住所変更等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設 されました株主様は、特別口座の口座管理機関である 三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の 支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることが できない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載 サイトアドレス	http://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/
上場取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場
銘柄コード	4819

Digital Garage

株式会社デジタルガレージ

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号

【お問い合わせ先】 ☎ 03-6367-1111 ✉ dg4819.ir@garage.co.jp

【当社Webサイト】 <http://www.garage.co.jp/ja/>

【当社WebサイトIRページ】 <http://www.garage.co.jp/ja/ir/>



Business Report

第20期 2015年6月期 第2四半期

IMAGINE MORE

 Digital Garage Group



IMAGINE MORE

～中期3カ年計画の総仕上げに向けて～

中期3カ年計画の総仕上げの時期に入り、計画の達成に向け確かな手応えを感じております。2015年の社内スローガンを「IMAGINE MORE」と決めました。「IMAGINE MORE」には、現在の業務から見える範囲でビジネスを着実に拡大していくことは当然として、さらに一歩進んで想像力を働かせ、常識を疑って物事を考えることを通じて新たなビジネスを生み出して行かなければならない。様々なものがインターネットを介して加速度的に融合していくこれからの時代にはこうした姿勢がますます重要になる、という意味を込めています。今期は、この新スローガンのもと、中期経営計画の達成と全てのステークホルダーの皆様のご期待に応えていくため、役職員一同事業拡大に向け邁進してまいります。



代表取締役 グループCEO
林 郁

【2015年6月期 第2四半期決算の概要】

(単位:百万円)	2014.6期 2Q	2015.6期 2Q	前年同期比 (比率%)	2015.6期 通期	
	(累計実績)	(累計実績)		(期初予想)	(修正予想)
売上高	15,622	17,887	+14.5	40,000	40,000
インキュベーション	2,394	3,023	+26.3	7,500	7,500
マーケティング	6,625	7,781	+17.5	17,000	17,000
ペイメント	6,603	7,082	+7.3	15,500	15,500
営業利益	812	1,739	2.1倍	4,500	4,500
インキュベーション	471	1,139	2.4倍	3,600	3,600
マーケティング	335	526	+57.2	1,100	1,100
ペイメント	463	590	+27.4	1,450	1,450
経常利益	1,687	3,464	2.1倍	6,700	6,700
当期純利益	1,426	3,507	2.5倍	4,000	5,200
EBITDA	2,926	6,579	2.2倍	9,000	11,000

Note: EBITDAは、税引前当期純利益に支払利息、減価償却費及びのれん償却費を加算して算出しています。

中期3カ年計画最終年度第2四半期は、過去最高益を更新

2015年6月期 第2四半期決算(7月～12月)は、売上高17,887百万円(前年同期比14.5%増)、営業利益1,739百万円(同114.1%増)、経常利益3,464百万円(同105.3%増)と過去最高の利益を計上することができました。要因として、3セグメントすべて増収増益を確保し、特にインキュベーションセグメントにおいて、国内外の投資事業が拡大し全体業績を牽引致しました。

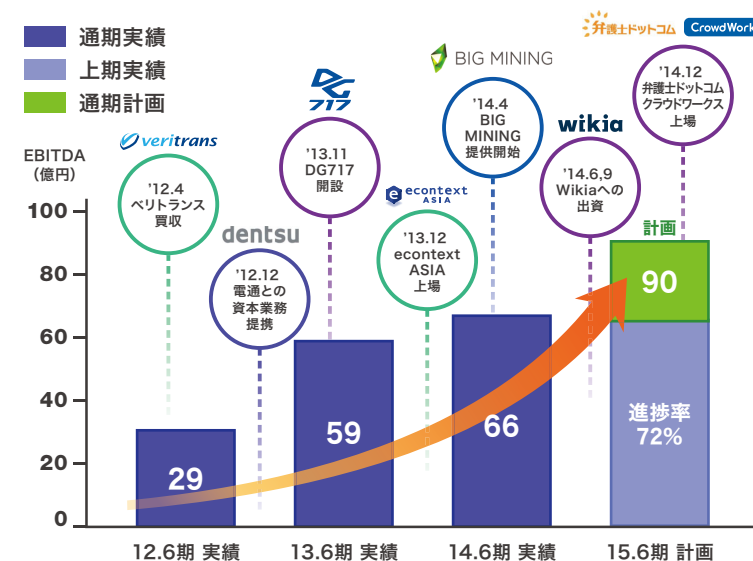
通期業績についても、特別利益の計上等、当期純利益を5,200百万円(期初予想比30.0%増)に上方修正したことにより、中期計画で掲げたEBITDA100億の達成が視野に入ってきました。

各事業セグメントにおいても中期計画の総仕上げに向け着実に収益基盤

の拡大を進めています。インキュベーションセグメントにおいては、外部筆頭株主を務める投資先2社がIPOしたことに加え、Wikipedia(ウィキペディア)の商用版である世界最大のコミュニティサービス「Wikia」(ウィキア)を運営する米国Wikia社に出資し、日本版Wikiaの事業展開を支援するなど、投資収益に加えて事業収益も見込める体制を整えました。

マーケティングセグメントにおいては、好調なパフォーマンスアドが業績を牽引、ペイメントセグメントにおいては、国内EC市場の拡大に伴い業績が堅調に伸張しており、インキュベーターとしてのデジタルガレージはもとより、事業会社としてのデジタルガレージの存在感も高まっております。

【EBITDAの推移】



【配当予想の内容】

	2015.6期		増減額
	期初予想	修正予想	
1株当たり配当金	7円 (普通5円) (記念2円)	25円 (普通5円) (記念20円)	+18円 (-) (+18円)
配当性向	8.2%	22.6%	

(2015年1月30日発表)

20周年記念配当の実施

配当につきましては、期初の1株当たり7円(普通配当5円、記念配当2円)から記念配当として18円増額し、年間25円とさせて頂いております。本年20周年を迎えるDGとして、20周年記念配当

として株主還元を充実させるとともに、引き続き株主還元を重要な経営テーマとして検討してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きより一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Incubation Segment インキュベーション事業

国内・海外の投資先ポートフォリオを拡充、投資インキュベーションを推進 ～米国Wikia社へ出資、国内での「Wikia」事業を展開～

インキュベーション事業におきましては、国内外のベンチャー企業への投資及びマーケティングや決済といった当社グループ内の事業との連携による投資先の育成などを行っております。国内外への積極的な投資により、ここ3年間で投資残高は100億円を超える規模となり、国内、海外への投資はともに順調に進捗しております。

海外の投資先として、今期新たに「Wikipedia」(ウィキペディア)の創始者であるJimmy Wales氏が立ち上げたコミュニティサイト「Wikia」(ウィキア)を運営するWikia社に出資を行いました。今後は「Wikia」の日本展開を支援し、広告販売を始め、事業収益の拡大を進めてまいります。



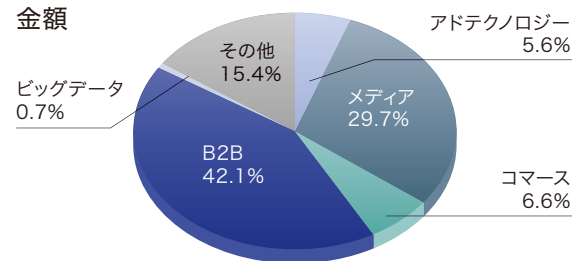
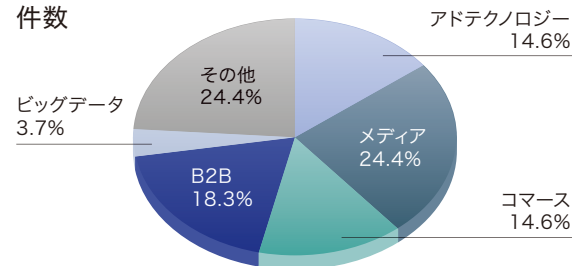
【DG インキュベーションのポートフォリオの状況】

■投資残高の内訳

分類	社数	金額
株式(転換権付融資含む)	82	9,598 百万円
国内企業	19	4,755 百万円
海外企業	63	4,843 百万円
ファンド	5	455 百万円
合計	87	10,053 百万円

Note: 上場銘柄は期末時価による評価額。

■セクター別分布 株式(転換権付融資含む)



米国Wikia社の概要

Wikia, Inc. 世界最大の(ソーシャル)コミュニティサイト

- 「ゲーム」「映画」などカテゴリ別に、ファンが交流するソーシャル・コミュニティサイトの場を提供
- 合計30万件以上のコミュニティ、3,400万のページがファンにより開設された
- サイトのページ閲覧数が月間で17億回超



Marketing Segment マーケティング事業

広告ROI全体を重視した、パフォーマンスアドが大幅増収増益を牽引 ～売上高前年同期比17%増収、営業利益同57%増益～

マーケティング事業におきましては、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティングを行っております。ウェブを利用した販売促進や、インターネット広告を手がける当社ディージー・アンド・アイベックスカンパニーは、従来の

ウェブ広告の販売のほか、収益性の高いスマートフォン向けの広告販売が拡大し、引き続き高い成長を続けております。

また、ビッグデータを活用したデータサイエンス事業にも積極的に取り組んでおり、今後の収益の柱として引き続き注力してまいります。



【マーケティングセグメントの成長戦略】

I デジタルマーケティング事業の深堀

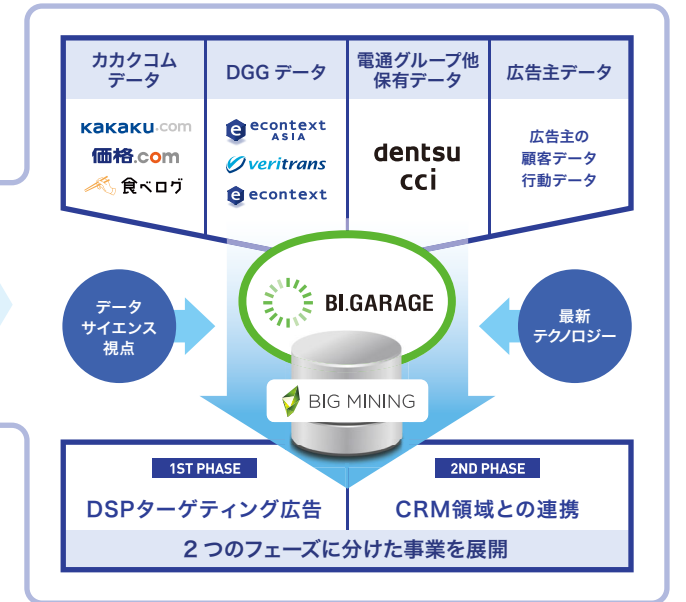
Web広告・モール事業の伸長に加え、O2O戦略・BtoCメディア事業の収益化。

II データサイエンス事業の成長拡大

DGグループ、電通グループのデータ・ノウハウを集積。新たなデータ事業の地平を開く。

III 各事業のアジア展開

バイメントセグメントと連動した主要アジア地域への横展開。



EC市場に加え、新たに拡大する新電子決済市場を深耕

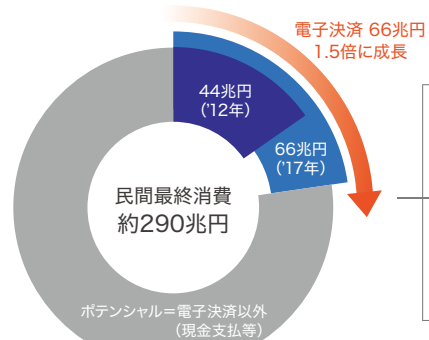
～売上高前年同期比7%増収、営業利益同27%増益～

ペイメント事業におきましては、Eコマースにおける決済ソリューションの提供を行っております。日本国内で決済事業を展開するペリトランス㈱及び㈱イーコンテクストにおいて決済の取扱件数、取扱高が堅調に伸張した結果、前年同期比で大幅な増収増益を達成

できました。また、注力中のアジア展開については、目覚ましい経済発展が期待されるベトナムにおきまして、アパレル用品を中心に扱うオンラインマーケットプレイス「Sendo」を運営するSendo社への出資を行い、合併事業化することに合意致しました。



【2017年の電子決済、1.5倍の66兆円まで拡大】



主な対象領域 (市場規模)	DGのソリューション
飲食産業 (12兆円)	食べログPay カカココムと共同で飲食店向けカード決済サービスを展開。「食べログ」掲載レストラン77万店の販路を活用。
不動産賃貸 (9兆円)	住まPAY 不動産広告事業を展開するDGグループのDGコミュニケーションズと協業し、賃貸物件の家賃・敷金等をカード決済で実現。
葬儀産業 (1.7兆円)	セレモニーPAY 葬儀の際に発生する想定外の高額費用の支払いにあたり、カード決済・ローンをパッケージ化。 新サービス 2月3日より提供開始

電子決済(クレジットカード、デビットカード、プリペイド、電子マネー等)
出所: DG調査、統計局、矢野経済研究所

第4カ国目のアジア進出先



Sendo Technology JSC

- ベトナムで「Sendo(<http://www.sendo.vn/>)」を運営。
- アパレル用品を中心に、20～30代の若者向け商品を幅広く取り扱うインターネット上のモールです。

アジアへの進出国



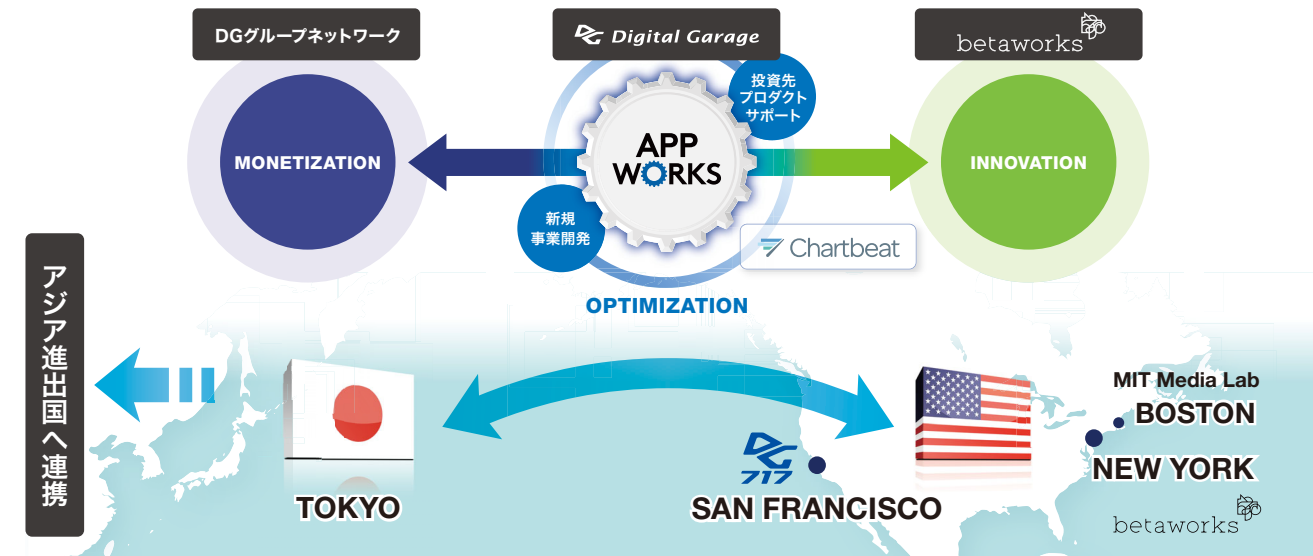
西海岸に続き、東海岸との提携も本格始動へ

～東海岸のインターネットビジネスの代表であるBetaworks社と連携～

米国のサンフランシスコを拠点とするインキュベーションセンターDG717のオープンに続き、ニューヨークを拠点とするBetaworks社と資本業務提携いたしました。今年の4月からは、当社が新たに発足させた社内組織「App Works」が主軸となりBetaworks社

と連携し、米国サービスの日本展開や、日本市場向けの新規サービスの独自開発を行ってまいります。

第1弾として、米国のChartbeat社と業務提携し、日本での事業展開支援を行ってまいります。



2014年2月
資本業務提携

Betaworks社は、ニューヨークを拠点として、ソーシャルメディア関連のベンチャー企業をインキュベーションする、米国有数のベンチャースタジオです。日本で幅広い年齢層に使われているアプリ等の初期の開発に携わっており、今後は当社の社内組織、App Worksと連携して米国市場で実績のある有力サービスの日本展開を支援してまいります。



2015年1月
業務提携

Chartbeat社はウェブサイトへのアクセス状況を秒刻みで解析し、その分析結果をサイトの収益化に繋げることが可能なサービス<Chartbeat>を提供しています。アクセスしているユーザーの閲覧状態が秒刻みで解析されるため、サイト運営者はページごとのアクセス状況等を視覚的に管理することができます。

Affiliated Companies

グループ関連会社

カカコム(持分法適用関連会社)社について

株カカコムは当社が株式を20.16%保有する持分法適用関連会社です。代表的なサービスとしては家電、保険、住宅ローンなど、多様なジャンルの商品やサービスの価格比較を始めとした購買支援サイト「価格.com」や、ランキングとクチコミのグル

メサイト「食べログ」などを展開しております。両サイトの月間利用者数の合計は1億人を超え、成長を続けております。食べログにおいては有料会員数も右肩上がりに伸びております。



【価格.com及び食べログのアクセス状況】

購買支援サイト **価格.com**

月間利用者数	5,225万人
(PC)	2,979万人
(スマートフォン)	2,202万人
(フィーチャーフォン)	44万人
月間総ページビュー数	9億8,700万PV

(2014年12月)

ランキング・クチコミグルメサイト **食べログ**

月間利用者数	6,369万人
(PC)	2,467万人
(スマートフォン)	3,799万人
(フィーチャーフォン)	103万人
月間総ページビュー数	14億788万PV

(2014年12月)



(1997年5月開設)



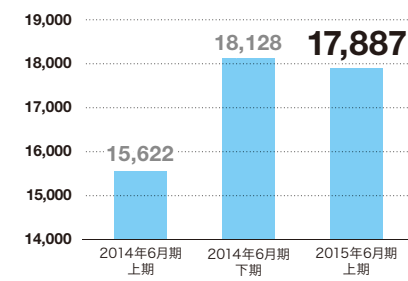
(2005年3月開設)

業績ハイライト

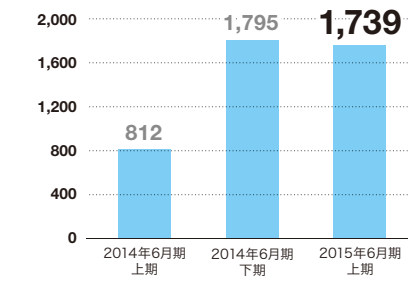
連結業績の半期別推移

(単位:百万円)

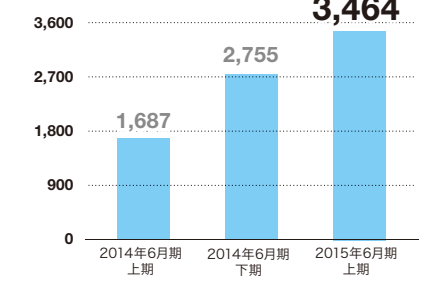
売上高



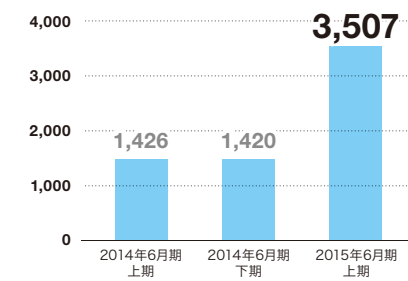
営業利益



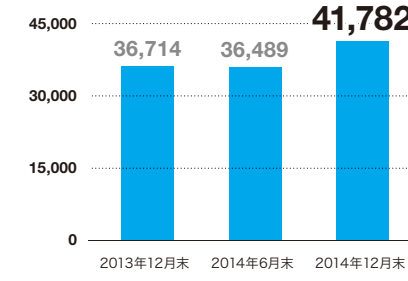
経常利益



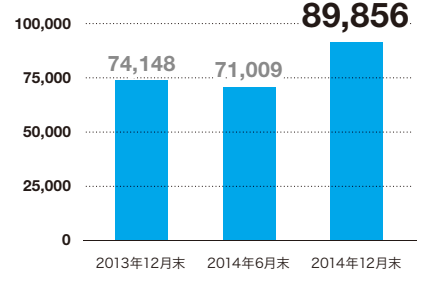
当期純利益



純資産額



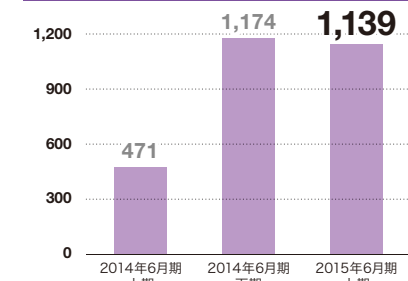
総資産額



事業セグメント業績

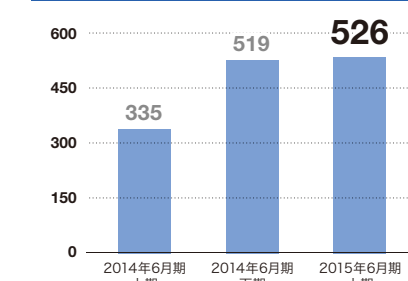
インキュベーション

営業利益



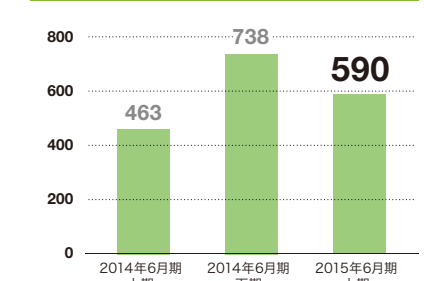
マーケティング

営業利益



ペイメント

営業利益



◆ 財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)	2014.6期末	2015.6期 2Q末	前期末比(金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	45,455	62,536	+17,081	
現預金	24,294	34,122	+9,827	株式売却による収入等
未収入金	8,596	14,469	+5,872	決済事業関連科目
金銭の信託	889	1,068	+179	決済事業関連科目
営業投資有価証券	8,063	8,960	+896	新規投資、投資先上場に伴う時価評価等
固定資産	25,554	27,320	+1,766	
投資有価証券	10,644	12,278	+1,634	持分法投資利益の取込み、投資先株式の時価評価等
投資不動産	3,619	3,860	+241	
のれん	7,354	7,112	-242	
資産合計	71,009	89,856	+18,847	
流動負債	25,461	39,097	+13,636	
預り金	16,434	25,496	+9,062	決済事業関連科目
短期借入金	3,690	6,806	+3,115	長期借入金からの振替
繰延税金負債	1,264	1,545	+280	時価のある有価証券の含み益に係る税金見込額
固定負債	9,058	8,976	-82	
長期借入金	8,841	8,130	-710	1年内返済予定の長期借入金の流動負債への振替、運転資金需要
負債合計	34,519	48,074	+13,554	
純資産	36,489	41,782	+5,292	
株主資本	27,762	30,934	+3,171	
利益剰余金	9,615	12,864	+3,248	
その他の包括利益累計額	2,679	4,447	+1,767	
有価証券評価差額金	2,193	3,463	+1,269	時価のある有価証券の税引後含み益
少数株主持分	5,906	6,231	+325	
負債・純資産合計	71,009	89,856	+18,847	

◆ 会社情報 (2014年12月31日現在)

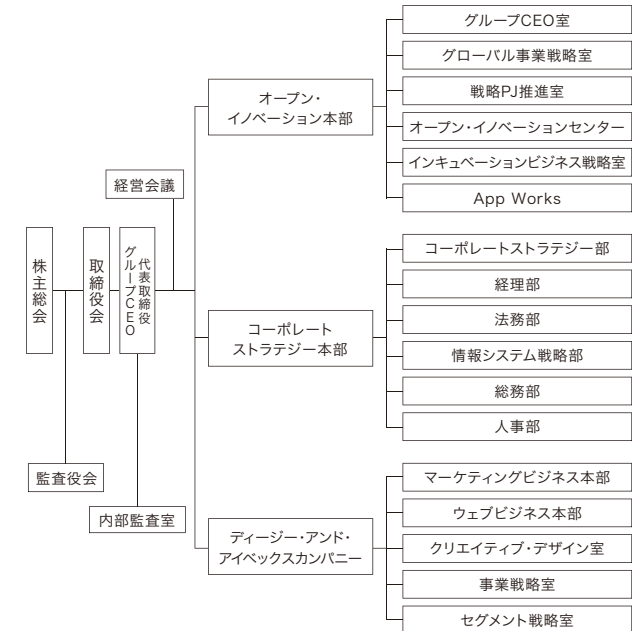
会社概要

商号 株式会社デジタルガレージ 従業員 (単体) 250 名
 設立 1995年(平成7年)8月17日 (連結) 491 名

役員

代表取締役 グループCEO	林 郁	取締役	伊藤 穰一
取締役副社長	六彌太 恭行	取締役	藤原 謙次
取締役	岩井 直彦	取締役	大村 恵実
取締役	曾田 誠	常勤監査役	牛久 等
取締役	踊 契三	監査役	坂井 眞
取締役	田中 将志	監査役	井上 準二
取締役	岡田 ジョーイ	監査役	牧野 宏司

組織図



株式情報

発行可能株式総数: 120,000,000株 議決権総数: 470,058個
 発行済株式総数 : 47,266,000株 株主数 : 12,235名

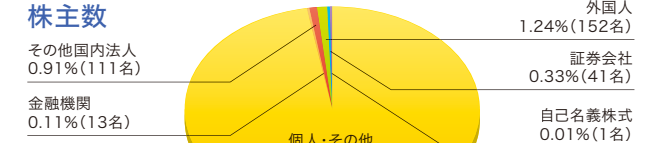
大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	6,763,600	14.39
株式会社電通	3,300,000	7.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,587,700	5.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,410,700	5.13
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV-BNY GCM CLIENT ACCT JP RD LMGC	1,500,000	3.19
TIS株式会社	1,483,800	3.16
ザバンク オブ ニューヨーク 133524	1,440,000	3.06
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	1,014,200	2.16
MSIP CLIENT SECURITIES	889,517	1.89
株式会社クレディセゾン	655,200	1.39

※持株比率は自己株式(256,800株)を控除して計算しております。

株式分布状況

株主数



株式数

